

五小っ子

平成29年度 学校便り第23号 (2月 2日)

島原市立第五小学校
校長 永田 俊文

学校教育目標

『進んで学び、思いやりの心を持ち、
心身ともにたくましい子どもを育成する』

○やさしさいっぱい ○かしこさいっぱい ○たくましさいっぱい
教育目標実現を目指し、子どもたち一人ひとりを大切に、全職員で力を
合わせ、日々の教育活動に取り組みます。

節分



明日は節分です。節分というのは季節を分けるという意味です。
ですから年に4回あります。立春、立夏、立秋、立冬の前日です。
旧暦でいうと立春は1年の始まりで、その前日の節分は、大晦日にあたります。それでこの節分が一番重要視されて、現在では節分と言えば2月3日ということになったのだそうです。

ところで、節分にやる事といえば豆まきですね。
『何故豆まきをするようになったの?』『どうして鬼は角があって、トラ柄の毛皮をはいているの?』
ちょっと調べてみました。
(※諸説がありますが、一般的にいわれているものです)

古来、中国では年が替わるのに際して、魔除けをする様々な習慣がありました。

それが日本に伝わり、豆は「魔滅(まめ)」に通じ、文武天皇の時代(706年~)から「追難(ついな)」と呼ばれる鬼払いが行われるようになりました。そして豆

を人間が食べてしまうことにより、鬼を退治したという事になるのだそうです。

豆まき以外にも、焼いたイワシの頭と柊の葉(とげのある葉っぱですね)を戸口にさす地方もあります。大阪では縁起のよい方角を向いて恵方巻というお寿司を食べる風習もあります。

鬼がトラ柄の毛皮をはくわけは、「鬼門」に由来するそうです。「鬼門」は鬼の出入りする方角で「北東」とされ、この方角は十二支にあてはめると「丑」「寅」の方角(うしとら)にあたります。そのため、古来鬼は「牛(丑)」の角(つの)をもった姿で、「虎(寅)」の毛皮を身に付けているとされているそうですよ。

各学級通信から自分の心から追い出したいオニを一部紹介します。

「おこりオニ」「なきむしオニ」「ゲームオニ」「おこりんぼうオニ」
「すききらいオニ」「わがままオニ」「らくがきオニ」「わすれんぼオニ」
「おそねオニ」「しゅうちゅうしないオニ」

明日の晩は大きな声で豆まきをして、心のオニもインフルエンザも追い出しましょう。
「鬼は外! 福は内!」



1月30日(火)の3時間目に長崎県警スクールサポーターを講師に本年度3回目となる「避難訓練」を行いました。今回は不審者に遭遇した場合を想定した訓練です。

- A: 一人で下校中に声をかけられた場合
- B: 一人で下校中に腕をつかまれた場合
- C: 友だちと一緒に下校中、一人が腕をつかまれた場合

ABCについて、各学年毎、全員が訓練を体験しました。次の1年生の感想から「真剣さ」がうかがえます。



~1年生感想より~ (読みやすいように漢字で表記しています)

- ・不審者から声をかけられて、ぼくは「いやです。」と言って、不審者の反対側に逃げました。
- ・「お母さんが交通事故にあって病院に運ばれたから、今すぐ車で連れて行ってあげる。」と不審者が言いました。
私は逃げました。ドキドキしました。私は防犯ブザーを付けます。

6年生は「護身術」も教わりました。急に腕をつかまれたり、後ろから羽交い締めされたりした時、大人だって対応する事はとても難しいと思います。

登下校だけでなく、日常生活において『一人で行動しない』『隙を見せない』心がけが必要です。

訓練後、返事・挨拶・靴並べの自己徹底が隙を見せない事になるのだと伝えています。



※通報 不審者の特徴「性別・年齢・体格・服装・顔かたち・眼鏡・」車の場合は、色やタイプ等を子どもに確認し、直ちに110番する事をお願いします。